



のびのび

2020年度校長室だより 第9号 令和3年1月26日

湯田小学校のキャッチフレーズ：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2020年度チャレンジ目標：湯田小ABC 合い言葉：やさしい言葉がひびきあう

人権教育参観日を終えて

校長 伊藤 豊

去る1月22日は3学期最初の参観日、人権教育参観日でした。コロナ禍ということで、保護者のみなさまには、来校時に様々ご配慮をいただきました。ご協力に対しまして感謝申し上げます。「人権」について学ぶ子供たちの様子はいかがだったでしょうか。学年により取り上げる話題はそれぞれでした。そのくらい多様な観点から、私たちの人権は守り、考えていかなければなりません。授業後の講演会では、「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう」と題して、日赤山口県支部の松本様から講話をいただきました。会の始めに私から「新型コロナウイルスは、ウイルス、つまり【病気】を引き起こす原因です。治療したり予防したりするには、お医者さんや薬の力が必要です。しかし、お医者さんや薬の力では解決できない問題が生じました。それは、病気にかかった人や病気と必死に闘っている人に対する【間違った見方、差別】という問題です。」と話したとおり、このウイルスは、人の心まで弱らせようとしています。しかし、今回のお話から、「病気→不安（恐れ）→差別（嫌悪）」といった負の連鎖を断ち切る勇気を持つこと、人間の本当の敵は「ウイルス」であることを忘れてはいけないという点を学びました。人間が不安にさらされた時に、正しい判断力を奪われてしまわないためには、苦しんでいる人を思いやる気持ちをしっかりと発揮しなくてはなりません。こうした思いやりの気持ちを表すには「やさしい言葉」が何よりも大切であると改めて認識することができました。今回は、本校児童代表として5、6年生が講演会に参加しました。きっと、純粋な心で多くのことを学んでくれたことと思います。また、参観授業を時間差で実施したにもかかわらず、多くの保護者の皆さんが残って参加してくださいました。こちらもとても心強く感じています。



県内に限ってみても、新型コロナウイルスの感染拡大にはなかなか歯止めがききません。引き続き安定した学校運営が行えるように、できるだけ感染予防を図っていきたくと考えます。ご家庭や地域においても、みんなのできる感染予防を行い、みんなが元気な毎日を送りましょう。

第2回保護者アンケートの実施について（お願い）

早いもので、令和2年度も残り少なくなってきました。子供たちの笑顔を曇らせないように、できるだけ工夫をして日々の学校運営を行っている所です。

さて、9月に第1回目のアンケートを行い、その結果は先月公表させていただいたとおりです。

アンケートそのものの目的は、お示した項目を学校やご家庭で意識しながら、同じ気持ちで子供たちの教育に取り組むところにあります。結果に課題が見られた点は、特に意識して取り組むことが大切だと考えています。

このたび実施する第2回は、第1回で課題が見られた項目に対して、子供たちを取り巻く私たちがどのくらい意識して教育に取り組めたのかについてお伺いしたいと考えました。これは、学校運営協議会の委員の皆様方からいただいたご意見を反映したものです。



- 家庭における「あいさつ」への取組
- 家庭における「家庭学習習慣確立」への取組
- 家庭における「読書習慣確立」への取組
- 家庭における「基本的生活習慣確立」への取組
- 家庭における「運動習慣確立」への取組



お手元にお届けするアンケート項目は、第1回よりぐっと絞り込んでいます。日々ご家庭で意識して取り組んでいらっしゃる様子を率直にご回答いただきたいと存じます。また、それぞれのご家庭で、「〇〇すると子供の姿によい変化が見られた。」「親子で〇〇するように心がけている。」といった好事例、多くのおみなさまに参考となるような取組例を集めたいと考えていますので、奮ってご紹介いただきたいと思います。

1円玉募金の実施について

JRC活動の一環として1円玉募金を行います。2月1日（月）～5日（金）に実施します。集めたお金は青少年赤十字活動資金となり、厳しい環境で生活をしているネパールやバヌアツの子供たちへの支援事業に役立てられます。1円玉募金だからと言って1円玉でないといけないわけではありません。1円でも救える命があるというメッセージです。家から持ってくる際には、財布や古封筒に入れるなどして落とさないようにご配慮をお願いします。ご協力よろしく願いいたします。

湯田小学校JRC委員会

タブレットドリルのご活用は？

以前ご紹介し、子供たち一人一人にID/PWをお配りさせていただいた、タブレットドリルのご活用状況はいかがでしょう。市教委からタブレットを借り受けられたご家庭の数も本校は大変多く、各家庭で子供たちが自分の課題や興味に応じて進んで学んでいるのではないかと期待しているところです。来年度4月から、山口市の児童生徒には一人1台のタブレットが使用できるように整備され（現在貸し出し中のタブレットも各学校へ配置）ます。そうしますと、学校でもタブレットドリルを活用した指導も進めていけます。そのためにも、少しずつ基本的な使い方に慣れておくことは大切だと考えています。せっかくですので、ご家庭でも積極的にご活用ください。湯田小学校HPからタブレットドリルへ移行しやすいように、トップページにリンクを貼っていますので、ご活用ください。

